

標本調査

政策専攻・経営学系専攻(B,M)基本科目
経営学系専攻(R)応用科目

水曜6限 (18:30～20:00)

509セミナー室

担当: 竹内恵行

4/11/07

1

本日の講義内容

- 授業目的
 - 何故「調査票調査」の方法を学ぶのか?
- 履修要件
- 教科書・参考書
- 授業の進め方
- 成績評価
- 講義スケジュール
- その他 (適性度チェック)

4/11/07

2

授業目的

- 調査研究 (フィールドワーク) で用いられる社会調査法の習得
- 具体的には、標本調査法 (調査票調査) とその関連手法を学ぶ

4/11/07

3

何故「調査票調査」の方法を学ぶのか？

- 「調査票調査」(アンケート調査)の方法
 - 社会学部では学部1年次配当の必修科目
 - 経済・経営・商学系学部では殆ど開講されない
 - 大学院でも開講されることは殆どない
- シンクタンク、マーケティング・リサーチ会社
 - 「調査票調査」の実施・解析業務も少なくない
- 調査方法には方法論 (理論) がある
 - 見よう見まねの調査は失敗の元
 - 失敗しても、再調査は行いにくい

4/11/07

4

質問:街頭アンケート

- 街頭アンケートで次の質問をされたときに、あなたはどのような印象をもち、また回答しますか。
 - Q1:あなたが朝食に食べた献立を教えてください。
 - Q2:あなたの財布の中にある金額を教えてください。
 - Q3:あなたが過去に性交渉をもった人数を教えてください。
- たとえ学術目的であっても、プライベートな事柄に関する質問には警戒心を抱く

4/11/07

5

著名な機関が行っている調査は本当に信用できるのか？

- 配布資料
 - 著名な機関が実施した「企業の社会的責任」に関する調査の調査票
 - 問題がない調査かどうか、各自確認してみよう

4/11/07

6

履修要件

- 学部程度の統計学の知識があること。
- データに基づく「実証研究」に関心のあること。
- 統計学の知識に自信のない受講者は、火曜6限に開講される、「統計」(福重教授)の受講を勧める。

4/11/07

7

教科書

- メインテキスト
盛山和夫(2004),『社会調査法入門』,有斐閣
(生協書籍部で入手可能)
- サブテキスト
Babbie, E. (2003), The Practice of Social Research, 10th ed., Wadsworth.
Babbie, E. (渡辺聡子監訳) (2003),『社会調査法1:基礎と準備編』,培風館(上記9版の邦訳)

4/11/07

8

参考書

- 佐藤郁哉(1992),『フィールドワーク』,新曜社 (必読)
- 森岡清志(編著)(1998),『ガイドブック社会調査』,日本評論社
- 田尾・若林(編著)(2001),『組織調査ガイドブック』,有斐閣
- 盛山・近藤・岩永(1992),『社会調査法』,放送大学教育振興会
- 西平重喜(1985),『統計調査法 改訂版』,培風館
- 豊田秀樹(1998),『調査法講義』,朝倉書店
- Lave, C.A. and March, J.G. (佐藤嘉倫他訳)(1991),『社会科学のためのモデル 入門』,ハーベスト社

4/11/07

9

授業の進め方

■ 講義

知識を与えるだけでなく、実践できるような力を養成するために、以下の方法も活用

- ケーススタディ
- グループワーク(プロジェクト)

4/11/07

10

成績評価

- グループワークの報告およびレポート(50%)
 - 教員評価+受講生の相互評価
- 期末試験(50%)
 - 持ち帰り試験

4/11/07

11

講義スケジュール

日	月日	講義内容	文献等該当箇所	スライド
1	4月11日(水)	§0 イントロダクション		
2	4月18日(水)	§1 社会調査とその方法	盛山(04) 第1章, 第2章	
3	4月25日(水)	§2 データと分析モデル	盛山(04) 第3章1~2	
	5月 2日(水)	いちょう祭のため休講		
4	5月 9日(水)	ケース & ディスカッション(1)		
5	5月16日(水)	§3-1 社会調査の設計	盛山(04) 第3章, 第4章3	
6	5月23日(水)	§3-2 調査票の作成	盛山(04) 第6章, 第5章	
7	5月30日(水)	§3-3 測定と尺度 §3-4 尺度の再構成	井上他(95) 第6章 森岡(98) 第8章3	
8	6月 6日(水)	§3-5 サンプルングの方法	盛山(04) 第7章	
9	6月13日(水)	未定	海外出張による休講の可能性あり	
10	6月20日(水)	ケース & ディスカッション(2)		
11	6月27日(水)	§3-6 調査の実施	盛山(04) 第4章2, 第8章	
12	7月 4日(水)	§4 予備的分析	盛山(04) 第12章	
13	7月11日(水)	課題, グループワーク課題 解説など		
14	7月18日(水)	プレゼンテーション		

4/11/07

12

適性度チェック

4/11/07

13

質問A-1：佐藤郁哉(1992)『フィールドワーク』より抜粋
自分にあてはまるものについて○×を付けてください

- 何でも数字におきかえなければガマンできない
- グラフや表が出てくるとわけもなく「科学的だ」と
思ってしまう
- 物事を「狭く深く」というよりは「広く浅く」知りたい
- あいまいなことが死ぬほど嫌いだ
- なるべく効率よく仕事をしたい無駄なことは大嫌
いだ
- うだうだと理屈をこねるのが何よりも好きだ

4/11/07

14

質問A-2

- 理屈なんか要らない、要するに「現場」に行って
肌で感じとれればいいんだと思っている
- 「徒弟制度」という言葉を聞いただけでジーン
とする
- 人と話をするのは大の苦手で嫌いだ
- メモをとるのは面倒くさくてイヤだ
- 原稿用紙20枚以上の文章なんてとても書けない

4/11/07

15

質問B

- 一見つまらないように見えることでも感心したり
感動できる
- 自分のことをつき放して観察できる
- ある程度いい加減でずぼらだと思
う
- ある程度シツコクでクドい方だと思
う

4/11/07

16

質問A, Bの○の数

■ 質問Aの○の数

- 3つ未満 質問Bの○の数が多ければ
 フィールドワーカーとして有望
- 3つ以上 フィールドワーク向きではない

4/11/07

17